

28・29年度 国体選手選考手順

H28.2.22 施行

第1回選考会議・・・10月上旬（前年度国体本大会終了後）

第1候補選手を以下の項目を参考に0～1名選出する。

- ① 関東高校、全国高校、国体関東ブロック、国体、関東中学、全国中学の実績
- ② 全日本ジュニア県予選優勝・準優勝

第2候補選手を以下の項目を参考に2～4名選出する。

- ① 全日本ジュニア県予選の結果
- ② 関東高校、全国高校、国体関東ブロック、国体、関東中学、全国中学の実績

第2回選考会議・・・2月上旬（前年度県高校新人終了後）

第1候補選手を以下の項目を参考に0～1名選出する。

- ① 全日本ジュニアベスト16以上、
- ② 第1次国体強化選手の第1候補選手（原則選出）
- ③ 全日本カデット14歳、全日本ジュニアの実績
- ④ 全日本ジュニア県予選・東京選手権ジュニアの県予選の実績

第2候補選手を以下の項目を参考に2～4名選出する。

- ① 全日本ジュニア県予選・東京選手権ジュニアの県予選の実績
- ② 県高校新人の結果
- ③ 東京選手権カデット県予選の結果

第3回選考会議・・・5月上旬（関東高校県予選終了後）

第1候補選手を以下の項目を参考に0～1名選出する。

- ① 東京選手権ジュニア・カデットベスト8以上
- ② 第2次国体強化選手の第1候補選手（原則選出）

以下の項目の該当選手によるリーグ戦＝**国体選考会**

関東高校県予選ベスト6と東京選手権カデット県予選ベスト4（第1候補選手は除く）

※リーグ戦1位の選手は第1候補選手とする。

第4回（最終）選考会議・・・6月下旬（全国高校県予選終了後）

以下の項目を参考に国体選手を4名選出する。

- ① 第3次国体強化選手の第1候補選手（原則2名）・・・5月までに実質決定
- ② 関東高校ベスト8以上
- ③ 関東高校県予選と全国高校県予選に両方優勝
- ④ これまでの各種県予選及び県外大会実績

※ ②～④を考慮し、残り2名（1名+サブ1名）を高体連強化部で選出し、合計4名のチームとする。